

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：松本・澤村]

TEL：0853-22-6772

FAX：0853-24-3342

令和8年度 病害虫発生予察情報 技術情報第5号

令和8年7月3日

島 根 県

水稲 斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等） の発生状況について

水稲斑点米の原因となるカメムシ類（アカスジカスミカメ等）の雑草地での発生が平年に比べて多くなっています。今後、水稲出穂に伴い本田へ移動し、加害する恐れがあります。

現地では発生状況の把握に努めるとともに、適切な防除をお願いします。

記

1. 発生状況と今後の予想

- 1) 水田ほ場周辺雑草地（イネ科雑草）において、すくい取り調査を2026年6月22日～24日にかけて行った結果、斑点米カメムシ類の発生ほ場率は84.0%（平年74.5%）、平均捕獲虫数は20.8頭/20回振り（平年14.2頭/20回振り）と、発生量は平年に比べてやや多い（図1）。
- 2) 主要種はアカスジカスミカメ（図3）であり、発生ほ場率は72.0%（平年61.0%）、平均捕獲虫数13.8頭/20回振り（平年9.3頭/20回振り）であった（図2）。近年、水稲栽培において大きな問題となっているイネカメムシ（図3）は、今回のほ場周辺雑草地におけるすくい取り調査では確認されなかった。
- 3) 6月第5半旬までの予察灯（出雲市）における斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ及びアカヒゲホソミドリカスミカメ）の合計誘殺数は44頭（平年48.4頭）と平年並みである。
- 4) 中国地方1か月予報（7月2日広島地方气象台発表）によると、気温は平年に比べて高くなる確率が50%と斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）の発生を抑制する要因とはならない。

2 防除対策及び防除上の注意事項

- 1) 水田ほ場周辺の雑草地における斑点米カメムシ類（アカスジカスミカメ等）の発生が多くなっていることから、適期に草刈りや除草剤散布などを行い、雑草（特にイネ科雑草）の管理を徹底する。
- 2) 今回の調査では確認されていないイネカメムシ等の個体数も、本田の出穂期が近づくと増えて増加すると考えられるため、ほ場の見回りをを行い適切な防除を行う。

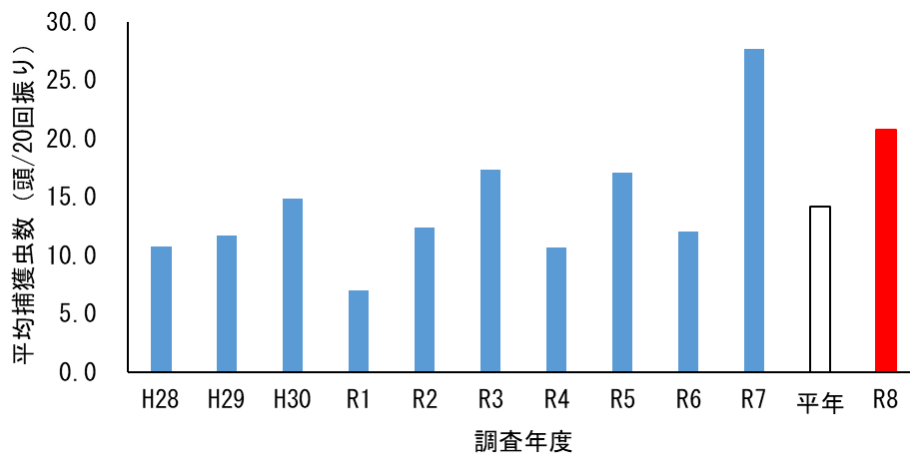


図1 斑点米カメムシ類（成幼虫）の平均捕獲虫数
（水田 20 回振り 6 月下旬調査）

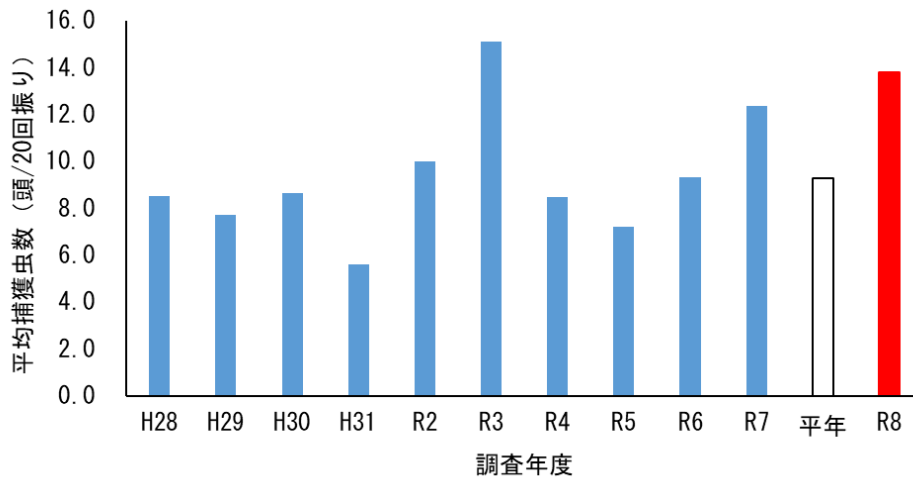


図2 アカスジカスミカメ（成虫）の平均捕獲虫数
（水田 20 回振り 6 月下旬調査）



アカスジカスミカメ イネカメムシ
図3 水稻を加害する斑点米カメムシ類